

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	健康観察	教科・領域等	日常生活の指導
作成者	小学部 第4学年		
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 20 c m×横 30 c m×高さ 2 c m)			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい - 自分の健康状態をみんなに伝えることができる。 2 使い方 - 名前を呼ばれたら前に出てきてカードを選び、自分の顔の所に貼る。 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） - 自分からその日の健康状態を判断して伝えることができるようになった児童もいる。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	NEW時間割・行事の絵カード	教科・領域等	日常生活の指導 他
作成者	高等部 第3学年		
教材・教具写真			
(教材・教具の大きさ:縦 7 cm×横 5. 7 cm×高さ 1 cm)絵カード1枚のサイズです。			
		2 時間目 びじゅつしつ  (例)	
48種類あります。 別紙プリント (カラー、B4サイズ、3枚) を参照して下さい。 利用しやすい大きさに拡大、縮小してお使い下さい。 旧タイプの絵カードよりも種類を増やして色を新しくしました。			
教材・教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 1日の時間割の流れを絵や平仮名によって理解させる。 ・ 主な行事関係の様子を絵や平仮名によって理解させる。 ・ 以上によって安心して学校生活を送ることができる。 2 使い方 ・ 絵カードを拡大コピー等して、ラミネートフィルムでパウチして裏面にマグネットを付けて時間割の近くに掲示する。 ・ 絵カードを縮小コピー等して、ラミネートフィルムでパウチして、パンチで穴をあけて数枚をひもでポケットサイズにして持ち歩く。 ・ 児童生徒の机上一部に絵カードを並べる。裏面にマジックテープを貼って落ちにくくする方法も考えられる。 3 その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど) ・ ホワイトボードに白黒の絵カードを貼っても見えづらいことが多いだろう。カラーにすることで見えやすくなる。一方、この絵カードをわざと白黒コピーをとることで、色味の部分が灰色のハーフトーンとなり認識しやすい児童生徒もいることだろう。			
参考文献・WEBがあれば	なし		

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	野外活動のポータブル日課表	教科・領域等	生活単元学習
作成者	小学部 第5学年		
教材・教具写真			
(教材・教具の大きさ：縦 35cm×横 45cm×高さ 2cm)			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい - 活動を象徴する具体物や場所の写真、イラストなどを用いて学習の中で繰り返し提示することで、野外活動の日課に見通しや期待感、意欲をもち活動することができるようにする。 2 使い方 - 事前学習や当日に共通して使用できるよう、持ち運びしやすくひもを通したり軽量化を図ったりして、必要な日課のカードのみ入れておいて提示し、活動が終わった際にはカードを抜いて活動が終わったことが視覚的に分かるようにする。この方法を繰り返し、日課表のカードと活動を結び付けていき、野外活動当日にも活動の前と後には提示して確認を行った。 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） - 市販のA3用クリアポケットファイルに、カードを抜き差しできるようポケットを付けた紙を入れ、日課に合わせてカードを入れる。1日目と2日目の日課表の紙の色は違う色にし、区切りが視覚的に分かりやすいようにした。 - 現在の子どもの実態から、多くても1ページにつき三つの活動を入れたが、段階によって活動の数は検討の余地もある。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	野外活動テーマソングカード	教科・領域等	生活単元学習
作成者	小学部 第5学年		

教材・教具写真

(教材・教具の大きさ：縦 50cm(広げた長さ)×横 40cm×高さ 2cm)



教材・教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

- 子どもたちに親しみやすいテーマソングや歌詞カードを作り、活動時に歌うことで、野外活動に見通しや期待感、意欲をもつことができるようにする。

2 使い方

- 野外活動に向けての学習をしていく中で、「ねる」について学習する際には寝る活動の歌詞を歌う、「おふろ」について学習する際にはお風呂に入る活動の歌詞を歌うなど、毎回の授業の中で関連する箇所の歌詞を歌うことで、楽しい雰囲気や活動をイメージできるようにする。野外活動当日も、活動の前に歌うことで見通しをもてるようにした。

3 その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど)

- 子どもたちがのりやすく、かつ歌いやすいテンポの曲として、「明日があるさ」の曲を選んだ。テンポは子どもたちが歌いやすいように遅くしている。歌詞も、シンプルで、覚えやすく、活動がイメージしやすい言葉、できるだけ普段の生活の中で聞き慣れている言葉、になるように考えた。歌詞カードを作成する際にも、子どもたちが見て捉えやすいよう、①概ね3文字までの分ち書きにする。②字間・行間を充分にとる。ことに配慮した。また、写真に子どもたちの活動場面を提示することでイメージをもちやすくした。
- 1番から6番までであるが、生単の授業の中で、少しずつ子どもたちに紹介することで、活動と結び付けながら覚えやすいようにした。

参考文献・WEBがあれば

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	カレー作りレシピ	教科・領域等	生活単元学習(調理)
作成者	中学部 第1学年		
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ:縦 20cm×横 15cm×高さ 15cm)			
			
教材・教具の概略(ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい - 単一Ⅱ類型の生徒(教師の見守りや簡単な言葉掛けで、調理作業が行える。) - カレー作りの調理過程を一つずつ確認しながら活動できる。			
2 使い方 その工程ができれば、カードをめくる。			
3 その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど) - カードを見ながら、できるだけ自分の力で取り組もうとする姿勢が見られた。 - 少々濡れた手でもめくりができるように、ビニールテープで番号と取っ手を付けたが、カード自体の大きさを工夫(始めは大きく、だんだんと小さくしていく等)をして、片手でもめくりやすくする。 - 全体がぬれてもよいようにすることと、安定性をもたせる。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	どこにあるかな？	教科・領域等	生活単元学習（調理・買い物）
作成者	高等部 第3学年		
教材・教具写真			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 買い物に行く前に、店の中での移動をスムーズにする。 ・ 自分の担当の食材を見付ける手立ての一つとする。			
2 使い方 ・ パワーポイントで店内の様子画像をモニターに写し、目的の商品を探させるというマッチングを行う。 ・ 見付けたら、画面に○印を付けて、互いに確認しあう。			
3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど）			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	キラキラガチャガチャ	教科・領域等	遊びの指導
作成者	小学部 第4学年		
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 18 cm×横 26 cm)			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 使い楽しみながら手指や掌を動かしかむ力を付ける。			
2 使い方 ・ 音を出しながら児童が興味をもつようにし、手を自分から伸ばして取りにくるようにする。 ・ 児童が自分で何度も持ち替えたり、たたいて音を出したり、引っ張ってみたいしながら遊ぶ。			
3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） ・ 音によく反応し、キラキラ光る物が好きな児童を対象に作成したので興味をもって手を伸ばしたり、たたいて遊んだりできている。手に持っている物をすぐに口に入れてしまうので、清潔が保てるようにステンレスの素材を選んだ。また、口に入れても大丈夫なようにキラキラのビーズはゴムに通して切れないようにしている。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	つりさげまぜまぜ	教科・領域等	作業学習
作成者	中学部 第3学年		
教材・教具写真			
(教材・教具の大きさ：縦 直径 20 cmの円×高さ 30 cm)			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい			
・ 肢体不自由の生徒が自力で材料を混ぜることができる。 ・ 手元を見ながら器具を操作することができる。			
2 使い方			
※ 中学部作業(クッキンググループ)の「ぼくのぱん わたしのぱん」という単元で、パンの材料を混ぜる際に使用。			
・ 中央部分に泡立て器やへら等、用途に合った器具をぶら下げる。 ・ 枠の中にボウルをセットし、生徒の机上に置く。 ・ 生徒の目の前に提示し、枠とボールを支える。			
3 その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど)			
・ これまでは教師と一緒に器具を持って行っていた作業であったが、この支援ツールを使用したことで肢体不自由の生徒が一人で混ぜることができるようになった。そのことにより、生徒の自発的な動きを引き出すことができ、一人でできたという達成感を感じさせることにつながった。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	たんとんこねこね	教科・領域等	作業学習
作成者	中学部 第3学年		
教材・教具写真			
(教材・教具の大きさ：縦 35 cm×横 10 cm×高さ 15 cm)			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい - 肢体不自由の生徒がスイッチ操作を行うことで、一人でパン生地をこねることができる。 2 使い方 ※ 中学部作業(クッキンググループ)の「ぼくのぱん わたしのぱん」という単元で、パンの生地をこねる際に使用。 - 生地を袋に入れ、マシンの下にセットする。 - スイッチを押す。 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） - 振動を楽しみながら作業することができていた生徒もいた。 - 振動が大きいため、操作しているということを実感しやすかったようで、操作しながら笑顔を見せる生徒もいた。 - これまでは教師と一緒に器具を持って行っていた作業であったが、この支援ツールを使用したことで肢体不自由の生徒が一人で混ぜることができるようになった。そのことにより、生徒の自発的な動きを引き出すことができ、一人でできたという達成感を感じさせることにつながった。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	ひっぱってザー	教科・領域等	作業学習
作成者	中学部 第3学年		
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 25cm×横 30cm×高さ 30cm)			
生徒の実態に合わせて後方に引っ張っても良い。 			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 肢体不自由の生徒が自力で材料をボールに入れることができる。 ・ 材料がボールに入るところに注目しながら作業することができる。			
2 使い方 ※ 中学部作業(クッキンググループ)の「ぼくのぱん わたしのぱん」という単元で、パンの材料である粉をボールに入れる際に使用。 ・ 材料の入った袋の底と両サイドを本体にぶら下がっているクリップで留める。 ・ 袋の真下あたりにボールをセットする。			
3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） ・ これまでは教師と一緒に器具を持って行っていた作業であったが、かき混ぜ器を使用したことで、肢体不自由の生徒が一人で混ぜることができるようになった。そのことにより、生徒の自発的な動きを引き出すことができ、一人でできたという達成感を感じさせることにつながった。 ・ 持ち手の部分を本人が好きな素材にすることで、より作業意欲を高めることができた。 ・ クリップの位置が調節できるため、様々な材料の入った袋の大きさに対応できる。 ・ つりさげる部分を網にしたため、生徒の活動が本人から見えやすい。 ※ 生徒の実態に応じて、後ろから引っ張る場面もあったため。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	クローバカフェ 接客マナーマニュアル	教科・領域等	作業学習（製菓）
情報提供者	高等部２・３年 作業学習（製菓）		
教材・教具写真 （教材・教具の大きさ： A４用紙縦 ）			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい - 接客をするときのマナーや態度について知り、行動することができる。 - 相手（お客様）のことを考えながら接客する態度を身に付ける。 - 文化祭で行う喫茶店での活動に役立てる。 2 使い方 - マニュアルを全員で読んで確認する。 - マニュアルに沿って喫茶店運営や販売の練習をする。 - マニュアルをミニサイズにコピーして、文化祭の喫茶店で用いる。 （見なくてもできるように練習をする） 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） - マニュアルを見ながら実際にやってみることで、接客の態度やマナーを身に付けることができた。 - いつでも視覚的に確認できるので、よかった。 - マニュアルどおりにやろうとして、ミニサイズのものに頼りすぎてしまう傾向のある生徒もいたので、見ないでもできるように練習をした。カウンターのの上に確認できるように置いておくようにしたので、気持ち的には安心でき、スムーズに行動することができるようになった。			
参考文献・WEBがあれば	ジアース教育新社「キャリアトレーニング事例集Ⅲ 接客サービス」		

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	自助具「書く機能を支援する」角度調整できる自助具	教科・領域等	作業学習、国語など
情報提供者	高等部	第3学年	
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ： 柄の長さ15cm＋先端に付けた角度調整の部分8センチ)  			
教材・教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等 1 ねらい ・ 重複クラス (I 類型) の作業、書く活動の自助具 ・ 筆記用具を取り付け。書く角度が調整できる。調整は上向き・下向きの二通りできる。 ・ その日の緊張の具合により筆やマジックが紙に当たる角度を調整できる。 2 使い方 ・ 木の柄の部分握り、その日の緊張状態の手の可動域に応じて筆記用具が紙面に当たる角度を調整する。 3 その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど) ・ 直径が1、2センチを超えるマジックや刷毛は固定できない。 ・ 絵筆や習字の筆には対応できる。(普通の作業や色塗りの刷毛も固定できるが取手が太いものは無理。)			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	自助具「押さえる機能を支援する」3種類	教科・領域等	作業学習など
作成者	高等部 第3学年		
教材・教具写真			
(教材・教具の大きさ：			
①押さえる部分 10 cm×15 cm+取っ手			
②柄の長さ 15 cm、円の直径10 cm			
③柄の長さ20 cm+6 cm、押さえる部分5 cm×5 cm、厚さ3センチ			
①	②		
			
③			
			
教材・教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい			
・ 重複クラス (I 類型) の作業自助具			
・ 四肢の緊張が強く手指を開いた状態や指先で物を抑えることが難しい生徒が物を押さえる時に使う。			
2 使い方			
・ ①、②は粘土を押さえて伸ばしたり、面積の大きいものを押さえて張り付けたりする時に使用する。			
・ ③は面積の小さいものを抑える時に使用する。角度調整が可能。			
3 その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど)			
・ ①と②の使い分けはできた。持ち手をもっと握りやすくするために、薄いスポンジを巻いたりして太さや握りやすさを調整する。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	進君・路子さん	教科・領域等	キャリア学習・総合的な学習
作成者	高等部	第2学年	
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ： 縦 約95cm×横 約 65cm) 			
教材・教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ キャリア学習で身だしなみやマナーについて学習する。 ・ 進路学習で、職場体験実習の打ち合わせ訪問にふさわしい服装について学習する。 ・ 吹き出しを使い、挨拶や言葉遣いについて学習する。 2 使い方 ・ 良くない例を提示し、自分たちでその箇所を発見し、パーツごとに貼り替えて訂正していく。繰り返して行い、自分たちの身だしなみに気付かせていく。(洗顔、髪型、爪、えり、シャツ、靴、ハンカチ、ティッシュなど) ・ 吹き出しを使い、言葉を記入したり訂正したりすることで正しい言葉遣いについて考えさせる。 3 その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど) ・ 実際に貼り替えるという活動をしながら、考えることができる。座学の難しい生徒が興味・関心をもつことができた。 ・ 制服だけでなく、余暇活動時の私服などについても考えさせることができる。 ・ パーツの工夫により、男女の接し方など性の学習にも応用することができる			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	キャリア学習ノート	教科・領域等	キャリア学習
作成者	高等部	第2学年	
教材・教具写真			
(): m×横 21 cm×高さ 0.5 cm): A4サイズ			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 社会生活・職業生活に必要な対人関係やコミュニケーションのスキルを確立し、実践する力を身に付ける。 ・ 将来の生活や進路選択に必要な社会生活スキルを習得する。 ・ 自己選択・自己決定力を身に付ける。 ・ 情報機器（コンピュータ、コピー機、電話など）の簡単な操作方法を身に付ける。 2 使い方 ・ キャリア学習の授業の中で、ワークシート・学習のまとめ・資料として使用した。各授業時間のものをファイリングしていき、学習の記録であると同時に日常生活の中で必要に応じて参考にすることができるマニュアルとして活用していく。 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） ・ 参考文献や参考WEBの中から生徒に即した内容を選んで整理し、生徒が使用しやすいノートになるよう検討した。			
参考文献・WEBがあれば	KDDI JUNIOR net ビジネスマナー		

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	「自分や相手について知る」自作ビデオ		教科・領域等	キャリア学習
作成者	高等部	第2学年	氏名	間賀田 京子 草羽 俊之
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ: 縦 12cm×横 12cm×高さ 0.3cm) : DVD				
 				
教材・教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等				
1 ねらい - 自分や友達の気持ちについて知る。 - 相手の気持ちを考えた、相応しい受け答えの方法を考える。 2 使い方 - 単元「自分や相手について知る」において日常生活の中の出来事について考える材料として、「お金の貸し借り」「ことばの暴力」「迷惑な行動」の三つのテーマで作成したVTRを視聴した。VTRの設定や状況を確認したのち、クラスごとに分かれてワークシートを用いて「自分ならどうするか」「登場人物はどうすればよかったか」などについて考えた。 3 その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど) - 身近な教師が登場していることで、生徒の興味は高く、毎回どのような設定で登場人物がどんな言動をするのか関心をもって視聴していた。その後の活動で「自分だったらこうする」「登場人物はこうすればよかった」などの意見が出やすかった。				
参考文献・WEBがあれば				

教材・教具名	へびくんのさんぽ	教科・領域等	国語・自立活動 他
作成者	訪問学級		
教材・教具写真			
(教材・教具の大きさ:縦 25cm×横 60cm×奥行き 35cm) 児童机1台分			
    ふき口を穴へ装着↑    その他の登場動物↓  空気入れて膨らませる    膨らんだら飛ばす			
教材・教具の概略 (ねらいと使い方)			
1 ねらい ・ お話に興味をもち、見聞きすることができる。 ・ 話のあらすじを理解することができる。また、登場動物に触れようとするすることができる。 2 使い方 ・ 教師が仕掛けを操作しながら、読み進めていく。 ・ お話の展開に興味をもてるように、磁石で登場動物を動かす。最後に“へびくん (ジェット風船)”を膨らませてから、飛ばし、お話を終了する。 3 その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど) ・ 本教材では、児童が仕掛けを操作する場面はない。児童にどれだけお話に興味をもたせて集中させるかに焦点を絞り作成した。磁石を使った“へびくん”の不規則な動きを見せて、児童が手を伸ばしたくなるような気持ちをもたせたり、最後の風船で驚かせたりして、2回目以降も次の展開に期待感がもてるように設定した。 ・ 磁石を利用したため、登場動物が勝手に動くように見え、児童が何度も手を伸ばしたり、不思議そうに見つめたりしており、反応は良かった。			
参考文献・WEBがあれば	なし		

【 教材・教具解説 】

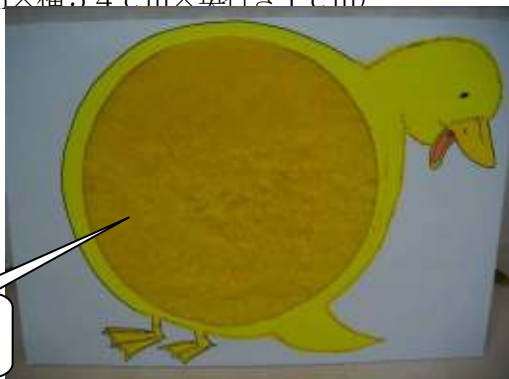
教材・教具名	ふわふわあひる	教科・領域等	国語・自立活動 他
作成者	訪問学級 氏名 城 幸美、濱本 健		

教材・教具写真

(教材・教具の大きさ：縦38cm×横54cm×奥行き1cm)



絵本



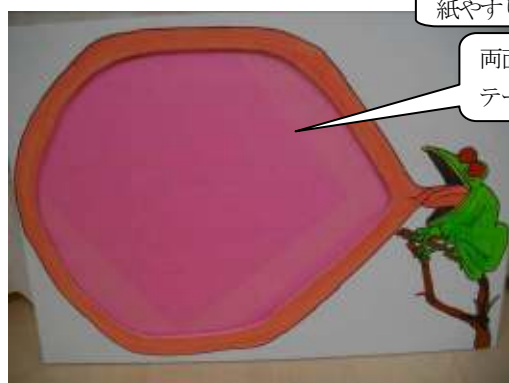
ふわふわ
の毛



紙やすり



弾力ある
マット



両面
テープ

教材・教具の概略（ねらいと使い方）			
1 ねらい - 絵本に興味をもち、見聞きすることができる。 - 各ページにあるザラザラやふわふわの感触を指先で感じることができる。さらに、音を頼りに次に味わう感触への見通しをもつことができる。 2 使い方 - 動物の泣き声を流す。その泣き声にあった動物の絵をペープサートとして提示し、そこにあるザラザラ（紙やすり）やふわふわ（毛）の感触を指先や手の平全体で受け止める。 4種類の動物を使用し、各動物で受け止める感触に違いを出す。また、慣れてきたら順不同で提示する。 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） - ペープサートにしたことで、ザラザラやふわふわの感触を受け止められる面積を大きくすることができた。それにより、5本の指先全てや手の平、手の甲、腕などでも感覚刺激を受け止められ、それにより児童の反応も変化していた。 1、2回目では泣き声を聞くことや直接触れることで、緊張を見せていた児童も、3回目あたりから、見通しがもててきたのか、リラックスした状態で感触を味わうことができた。			
参考文献・WEBがあれば	なし		

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	やさいさん	教科・領域等	国語
情報提供者	小学部	第1学年	
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 20 cm×横 20 cm×高さ 3 cm)   			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等 - ねらい - 文字に興味をもつことができる。 - 野菜の絵と平仮名で書かれた名前カードをマッチングすることができる。 - 使い方 - 絵本の読み聞かせをしながら、「だあれ」の後にどんな野菜かを考えさせ、ページをめくらせる。 「すっぽーん。」の掛け声を一緒に言った後、マジックテープが貼っている所に名前カードをくっ付ける。 - 一つから始め、できるようになると何枚か提示し、その中から正しいものを選ばせる。 - その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） - ページをめくると隠れている野菜が出てくるので、何の野菜が出てくるか期待しながら活動に取り組むことができる。 - 簡単なせりふの繰り返しなので児童と一緒に読み、言葉の響きも楽しみながら取り組むことができる。 - いろいろな野菜が出てくるので、実態に応じて選択肢を増やしながら取り組むことができる。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	これは なんだろう		教科・領域等	国語	
作成者	中学部 第1学年				
教材・教目写真					
①	これは なんでしょう？	③	ノコギリザメ	⑤	くちさきのこぎり じょうになっていて いかやこさかなをたべ ます。 ノコギリザメのにく す。は、かまぼこになりま す。
②		④	どんな さかなかな？		
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等					
1 ねらい					
・ 生徒の興味関心の高い事柄を、クイズ形式で質問しながら、抵抗なく学習に取り組むように促し、国語の基礎的な力を養う。					
2 使い方					
・ パワーポイントを利用し、①の質問をしながら、②の映像を見せる。生徒に解答させ、③の正解を伝える。④の質問をした後、⑤の説明文を音読（別紙1）する。本文の内容について質問し、読解（別紙2）した後、視写（別紙3）することで、聞く、読む、話す、書くといった一連の活動を、リズムよく進めていく。内容読解については、個人の実態に応じて、考慮する。毎回内容を更新し、生徒に期待感をもたせることができるように工夫する。					
3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど）					
・ 生徒にとって比較的関心の高い事柄を用いることで、学習意欲が高まり、書くことや話すことが苦手な生徒も、書くこと、話すことに対する抵抗が小さくなり、学習活動が活発になる傾向がある。					
参考文献・WEBがあれば					

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	「ことばピンポン」 (パワーポイント教材)	教科・領域等	国語
作成者	中学部 第1学年		
(「お」のつくことばの抜粋) ことばピンポン お のつくことば ① おかあさん ② おとうさん  お母さん お父さん お兄さん お姉さん 妹 弟 お母さんが 大好きです ① おそろしい ② おもたい ③ おおい  はんたいのことば かるい おそろ おそろい ふたりで はこごと かあくなるね ① おおきい ② おおせい ③ おおい  はんたいのことば ちいさい おおき ちいさい			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	キャベツくんシート	教科・領域等	国語
作成者	高等部	第2学年	
教材・教具写真 (教材・教具の 20cm×横 30cm)			
			
教材・教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1ねらい - 絵本「キャベツくん」(長 新太)のストーリーに合わせて、操作を繰り返し、「こうなる!」の声とともに動物がキャベツに変身する場面を楽しく再現する。 - 形のマッチングや手指の巧緻性、手と目の協応を図る。 ※ 対象生徒・・・ 重複Ⅰ類型男子2名(発達段階1～2) 2使い方 - 読み聞かせの中で順に(又は前後に)言葉掛けをしながら、剥がしたり、貼り付けたりする。 2～4枚の中から好きな物を選んでべりべり剥がしたり、貼り付けたりする。 - 生徒の実態や上達に合わせて、マジックテープの強度を調整する。 3その他 - カードを更に大きくしたら、手や腕の活動性とともに、興味も高まると思われる。 3その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど)			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	「カラスのパン屋さん、いろいろなパンがでてくる」	教科・領域等	国語
作成者	高等部	第3 学年	
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ： A4コピー用紙の包装箱に入れた約縦8センチ横10センチの紐につながれた絵カード。三人分の3本の紐につながれた絵カード。)  			
教材・教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等 1 ねらい ・ 重複クラス（I 類型）の視覚支援 ・ 自分でひもを引っ張って絵本に出でてきたいろいろなパンを引き出すことで手指の巧緻性を図るとともに物語への興味を喚起する。 2 使い方 ・ 「カラスのパン屋さん」の絵本の読み聞かせ、あるいは映像紙芝居の中で様々なパンを作る場面で、生徒にひもを引っ張らせると箱の中からいろいろなパンがひもにつられて次々と出てくる。生徒の興味に合わせて原作には無い売パンも出てくる。 3 その他 （児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど）			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	「替え歌で漢字の成り立ちに親しむ」		教科・領域等	国語
作成者	高等部		第3 学年	
教材・教具写真				
(教材・教具の大きさ： 八つ切りの画用紙に絵、漢字を書いたもの、替え歌)				
				
(裏にも漢字があります。)				
教材・教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等				
1 ねらい - 重複クラス (I 類型) の視覚支援 - 漢字の理解が難しい生徒に替え歌を歌いながら漢字の成り立ちを示すことで漢字に親しむことができる。(漢字の成り立ちは。絵文字→甲骨文字→篆文→隷書→現代の楷書体) - 替え歌は生徒になじみの深い、日→「ギンギンぎらぎら夕日が光る」、月→「げんこつ山のたぬきさん」を使った。 2 使い方 - 歌に合わせて順に絵カード、漢字カードを見せる。絵から現代の楷書の漢字に変わっていく様子を見せることで生徒の興味を喚起し、漢字に親しませる。そのあと漢字のなぞり書きを行う。 3 その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど) - 替え歌なので歌のCDなどはもちろんない。授業者がオルガンの伴奏ができればもっと良かった。 - 表裏に漢字を書いたため、絵文字→甲骨文字→篆文→隷書→現代の楷書体を一度に表示できなかった。				
参考文献・WEBがあれば				

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	おかあさん は どこかな？	教科・領域等	算数
作成者	小学部 第1学年		
教材・教具写真 (教材の大きさ： 縦 26cm×横 45cm×奥行き 4cm)			
 → → 			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 座位保持椅子の肢体不自由児が、自らの意思で手指を動かす力を育てるとともに、形への興味を育てるために作製した。 ・ 取っ手を引っ張って、マグネットの部分を外すことができる。 ・ 形への興味・関心を育てる。 ・ 色柄に注目することができる。			
2 使い方 ・ 児童の好むキャラクターに着目させ、取っ手を握るように誘導する。（自分で腕を挙げにくい児童は、肘を支援するなどして、宙で手を水平に動かせるようにする。） ・ 引っ張って外したとき、下から児童やお母さんの写真が出てくるのを見て楽しむ。			
3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） ・ 児童が取っ手に手を掛けたとしても、それを取ろうという意欲付けに欠ける。（下にお母さんの絵柄があるということを予測して意欲をもつことができない）そのため、音が好きな児童には、取っ手の部分に鈴を付けるなどしても良いとOTよりアドバイスをいただいたが、そうすると取れた形パネルにばかり執着して図柄に注目することができないため、そのまま使っている。凹凸を付けず、平面に取っ手付きの形パネルを付けて、下の図柄をチラッと見せるようにしても良いのではないかと考えた。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	さよならさんかく	教科・領域等	算数
作成者	小学部2学年		
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 25 cm×横 25 cm)			
《 回転前 》  ⇒ 《 回転後 》 			
教材・教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい (今、使用している児童の場合。使用の仕方次第で、いろいろなねらいに対応できる。) ・ シアターに興味をもつことで、色の名称と色の一致につなげる。 ・ 眼前で変化する様子に興味をもつ。 ・ わらべ歌調の歌い掛けに興味をもち、紙皿シアターに目を向けることができるようになる。 2 使い方 ※ 赤の例です。黄色は傘。青はおばけです。絵柄は好きな物に変更可能。 ※ 「さよならさんかく」の絵本読みに合わせて行っています。 ・ 「あかいはなあに、あかいはなあに。あかいはあ？」までは、写真左図の形で児童の目の前に提示するようにする。 ・ 「あかいはあ？」の後、素早く紙皿を回転させる。 ・ 「りんご！」と言って、回転後の紙皿を提示する。 ※ 素早く回して変化させることで面白さが出る。 3 その他 (児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど) ・ 回転がスムーズに行くには、紙皿にビニールコーティングがされている方が適している。 ・ 絵の工夫次第では、さらにリングをトマト、車、傘にも児童の興味をもちそうな物にも変えられると思います。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	「まるくて おいしいよ」	教科・領域等	算数
作成者	小学部 3 学年		
教材・教具写真			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 物に注目してつかむ、引き寄せる、手を離す等の操作をすることができる。 ・ 物に触れて、物の大小を感じることができる。 2 使い方 ・ ホワイトボードに貼ってある物を取る。 ・ 取った物をお皿の上で手を離す。 ・ 手元に置いておき、つかんでホワイトボードに貼る。（貼ったものに注目する）等、児童の得意な動きや引き出したい動きに応じて活動を変えていく。 3 その他 （児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） ・ 食べ物を取り扱ったので注目は、しやすいようだった。 ・ 握った感触などで大きさも感じてほしかったので、握りやすくなるように配慮しなかったが、一番大きかったビスケットはやはり握りにくく、活動がやりにくそうであったので改善していきたい。			
参考文献・WEBがあれば			

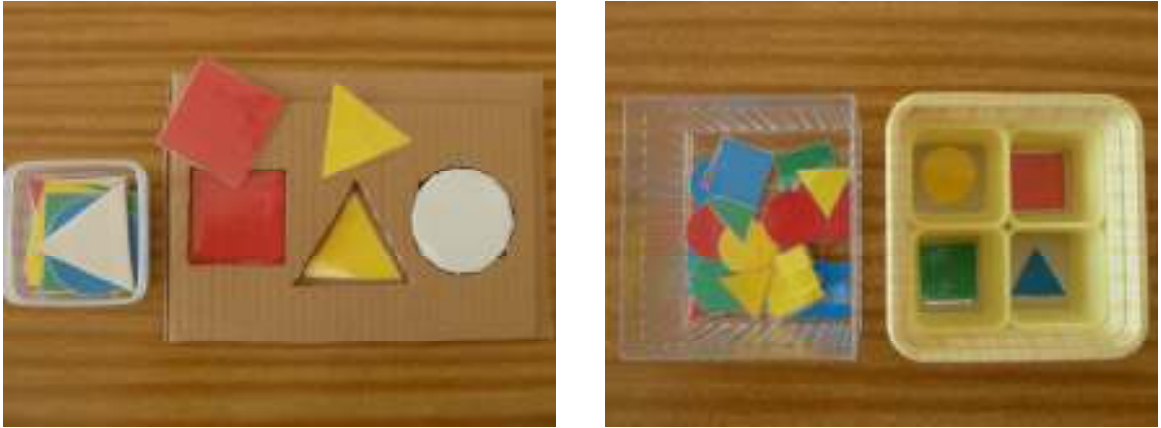
【 教材・教具解説 】

教材・教具名	魚カードのマッチング	教科・領域等	算数・国語
作成者	小学部 第4学年		
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦16cm×横30cm)			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 魚の絵カードを見て、名前を言うことができる。 ・ 絵カードのマッチングをすることができる。 2 使い方 ・ 絵カードを1枚ずつ手に取り、名前を言う。 ・ 台紙の同じ絵の所にカードを置く。 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） ・ 好きな魚の絵カードを使用したので、興味をもって取り組むことができた。 ・ 自分で手に取り、操作しやすい大きさ・形・枚数にした。 ・ 名前を簡単に発声しやすいものにした。（タツノオトシゴ→タツ）			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	時計の学習	教科・領域等	算数
作成者	小学部	第4学年	
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 20 cm×横 30 cm×高さ 2 cm)  			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等 1 ねらい ・ 一日の学校生活に関わる時間を覚えさせて、自分の生活に関わりのある時計の読み方を理解させる。 2 使い方 ・ 時計の針を見て数字を合わせる。 ・ 慣れてきたら、数字を見て時計の針を合わせる。 ・ デジタル表紙の読み方も一緒に習得できるようにしている。 3 その他 （児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） ・ 時計以外にも、カードを変えればいろいろな教材に使用できる。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	そろえる！	教科・領域等	算数
作成者	小学部	第6学年	
教材・教具写真 ㊦(教材・教具の大きさ：縦 20cm×横 30cm) ㊧(教材・教具の大きさ：縦 12cm×横 12cm)  ㊦形に注目できるように、段ボールで大きく作製しています。 ㊦小さな箱の中に同じ色の図形を入れて、箱の中身を揃えます。			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 三種類の図形について、形と名称が一致することができる。㊦ ・ そろえる位置を考え、図形をマッチングすることができる。㊦ 2 使い方 ・ 段ボールの間に色紙を入れて、浮かび上がった色の図形を型はめする。㊦ ・ 箱の各部屋に置かれた図形と同じ図形を選び、箱に入れる。㊦ 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） <改善点> ・ ㊦はじめは白色のみを扱っていたが、色の数を増やすよう改善した。 ・ ㊦はじめは箱の底に図形を入れてマッチングを行っていたが、課題が達成できたので、箱の底に図形を置かず、あらかじめ撮っておいた写真を基に、図形をそろえることができるよう改善した。			
参考文献・WEBがあれば	なし		

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	フルーツの贈り物	教科・領域等	算数
作成者	小学部 第6学年		
教材・教具写真			
(教材・教具の大きさ：縦 22 cm×横 22 cm×高さ 6. 5 cm)			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい - 写真と具体物を照合し、見本の写真と同じものを作る。 - 色や形の識別をすることができる。 1対1対応をすることができる。 - 位置についての理解を図る。 2 使い方 - 見本の写真を見ながら、果物の形をしたカップを見本と同じように箱に詰めてそろえる。 - 見本の写真を見てできるようになったら、(文字を理解できる児童は) 文で書かれたオーダー（「メロンを上段に3個」など）を読んでそろえるなど、学習内容を発展させる。 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） - 果物の形をしたカップを使うので、児童が興味・関心をもって活動に取り組むことができる。 4種類のフルーツカップがあり、種類や数を変化させていろいろな組み合わせを作ることができる。 - カップのふたを外しておき、同じ色のふたをはめるなど、色合わせの学習としても使用できる。 - 児童生徒の目標に応じて、学習内容を展開させていくこと（色や形の違いに気付くことから1対1対応や位置の学習などまで）も可能である。 - 自立活動の教材としても使用することができる。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	はらぺこあおむし	教科・領域等	数学
作成者	中学部	第1学年	
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 36 cm×横 49.5 cm)   土台は木の板、あおむしはモール、食べ物フェルトでできています。			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ あおむしが食べる食べ物の数が日に日に増えていることに気付く。 ・ モールで作ったあおむしを引っ張り抜くことで、食べ物を食べていくうちにあおむしの長さが長くなっていることに気付く。 ・ 主体的に教材に関わることができる。 2 使い方 ・ 重複ⅠB類型の生徒が「はらぺこあおむし」の歌に合わせながら使用する。 ・ 生徒の実態に合わせて穴からでているあおむしを引っ張ったり、マジックテープでくっ付いている果物を剥がしたりする。 3 その他 （児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど）			
参考文献・WEBがあれば	なし		

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	さよならさんかく	教科・領域等	音楽・自立活動 他
作成者	訪問学級		

教材・教具写真

(教材・教具の大きさ：縦42cm×横90cm×奥行き1cm)

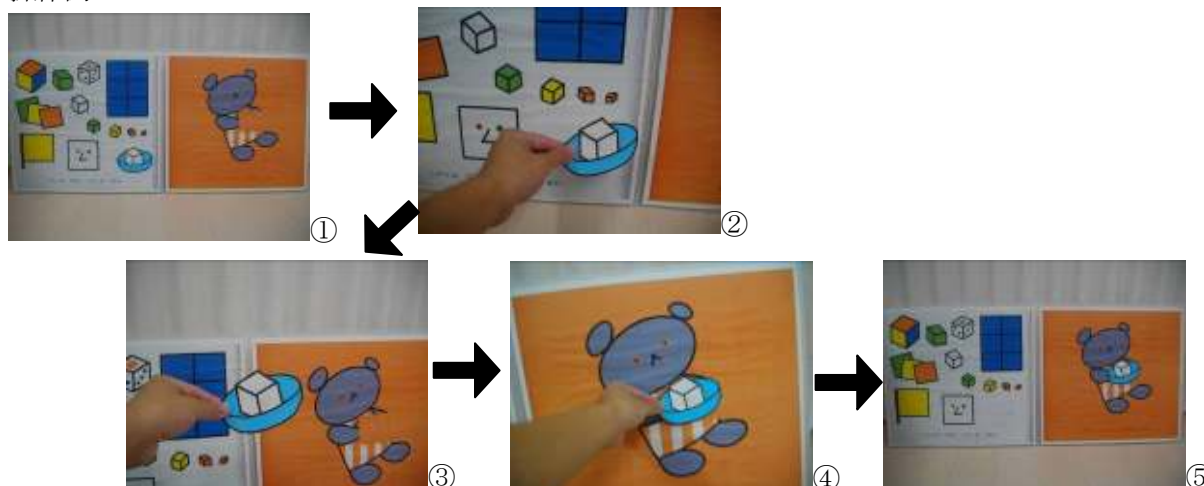


絵本

下記以外の
ペープサート



操作例



教材・教具の概略（ねらいと使い方）

- 1 ねらい
 - ・ 歌や絵本に興味をもち、ペープサートを見聞きすることができる。
 - ・ 歌に合わせて、ペープサートを操作して、所定の位置へ貼り変えていくことができる。
- 2 使い方
 - ・ 教師が曲に合わせて歌いながら、ペープサートを操作するのを見聞きする。
 - ・ 実際に教師と一緒にペープサートを操作する。さらに曲に合わせて一人で操作する。
- 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど）
 - ・ 何度か操作する様子を見せることで、やり方を理解し、自分からペープサートを持とうと手を伸ばしたり、実際に自分から貼り付けたりする場面が見られた。
 - ・ 強力磁石を利用したため、ペープサートを貼り直すために所定の位置へ近づけると、磁石の方で引き寄せようとする力が働く。それにより大体の貼る位置が分かっておれば、磁石で多少の誘導ができたことは有効だったように思う。児童も磁石によってペープサート引き寄せられることを実感して、驚いたような表情を見せていた。
 - ・ ペープサートに合わせて「さよならさんかく」の曲も作成し、リズムや歌詞を楽しみながら活動できるようにした。

参考文献・WEBがあれば

なし

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	ミュージックシアター「森のオルゴール」	教科・領域等	音楽
作成者	小学部	第4学年	
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦21、5cm×横30cm) 			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい - 歌に合わせたシアターに興味をもち、雰囲気を楽しみながら見聞きすることができる。 2 使い方 - 音楽の学習の鑑賞曲「森のオルゴール」の歌に合わせて、シアターのページをめくったり操作したりして見せる。 1、2、3番ともに始めのフレーズで1枚目を見せる。 「りんろんりろんりんろん・・・」のところでは、最後のページの音符カード（A・B）を前に出して重ねて見せる。 3 その他 （児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど）			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	歌うビックマック	教科・領域等	音楽（重複 I B 類型）	他
作成者	高等部 第 3 学年			
教材	 ここは！ ♪  かえるのうたが ♪ ゲロゲロゲロ ゲロ・・・ ♪ ビックマック ステップ・バイ・ステップ（思案中）			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等				
1 ねらい - 発語が難しい生徒に、より参加しているという気持ちを感じさせたい。 - 周りの歌声を聞き、タイミングよくスイッチを押す。 - 自分がスイッチを入れるという動作と、機械から音（歌声）が出るという作用を感じさせたい。 2 使い方 - ビックマックに授業で歌う、歌の一部を録音しておく。 - 合唱の、輪唱部分で生徒がスイッチを押す 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） - 発語は無くとも、生徒は音楽を聴いて楽しみながら参加はできているが、その中で自分も何かの活動をしているという意識や表情が伺えた。				
参考文献・WEBがあれば	なし			

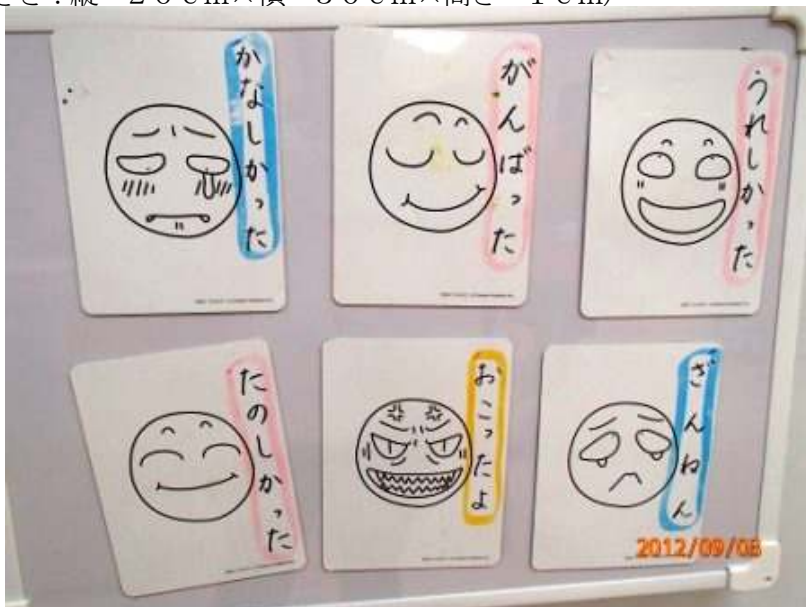
【 教材・教具解説 】

教材・教具名	飾り瓶	教科・領域等	美術
作成者	中学部 第1学年		
  飾り瓶 和紙染			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 飾り瓶を制作する手順を知る。 ・ 制作する過程で、それぞれの工程を確認し、完成への見通しをもたせる。 ・ 手順表と合わせて画像に映し出すことで、生徒の主体的な活動を促す。 2 使い方 ・ パワーポイントを使用しながら、飾り瓶の制作手順の説明をする。 ・ 作品完成に向けて、部分的に制作内容を画像により確認する。 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） ・ 授業の導入でパワーポイントを活用することで、生徒が集中して説明を聞き、制作に向けて関心・意欲が高まった。 ・ 美術科の授業では、単元ごとにパワーポイントを作り、授業の初めに説明・活用することで学習内容の定着を図ることができている。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	体育祭に向けて～生徒同士でより完成度を上げるために～	教科・領域等	保健体育
作成者	高等部 第3学年		
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 130cm×横 210cm)   			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等 1 ねらい ・ 高等部体育祭学年種目の【組み体操一人技】の演技の流れを視覚的に示すことで、正しい順番で正確な形を理解させることをねらいとした。 ・ この教材のポイントは、①組体操の体の動きの連続写真であること②体の動きを正面、側面の2方向から立体的に捉えたものであること③写真の上には太鼓の音を言葉で示していることの3点である。 ・ 組体操の苦手な生徒の特性は、視覚的記憶の弱さと立体的な認知の弱さにある。こうすることで視覚的短期記憶の弱い生徒が、静止画の連続として捕らえるように工夫された視覚支援教材となる。さらに、平面的な認知はできても立体的な認知の弱い生徒に対しては、正面と側面の静止画を見せることによりその弱さを補うことができる。その上に、音の情報を写真の上に文字として示すことで音との関連によるスムーズな記憶を助けるものである。したがって、人間がもっているすべての感覚を総動員して弱さを補いながら強さを使って学んでいけるように作った教材である。 2 使い方 ・ 教室前のスペースに掲示し、生徒同士がお互いに写真と友達の姿勢を確認しあう。体育祭へ向けての気持ちを生徒同士で盛り上げることをねらっているためお互いの良いところやもっと改善したら良くなる点などを積極的に学びあえる雰囲気作りを心掛けた。また日々目に見える位置に掲示することで意識的、無意識的を問わず生徒の記憶を定着させることができるものである。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	感情カード	教科・領域等	自立活動
作成者	小学部 第4学年		
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 20 cm×横 30 cm×高さ 1 cm)			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい 自分の気持ちを伝えることができる。			
2 使い方 その日一日を振り返って、どのような一日だったかカードで表現する。			
3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） - パニックになったときに、なぜ泣いているのか選ばせることができる。 - 教師の気持ちを表すときにも目で見えて絵で伝えることができる。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	フルーツ畑	教科・領域等	自立活動
作成者	小学部	第6学年	
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 26cm×横 18cm×高さ 5cm) 			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 三指を使った動きを引き出す。 ・ 両方の手を使って物に関わったり、操作したりする力を付ける。 ・ 手指の巧緻性を高める。 ・ 目と手の協応性を高める。 2 使い方 ・ 一方の手でカップを押さえる。 ・ もう一方の手の三指で蓋のつまみを持つ。 ・ 蓋をはめる（はずす）。 ・ 箱に詰める。 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） ・ 果物の形をしたカップを使うので、児童が興味・関心をもって活動に取り組むことができる。 ・ カップに蓋をはめる（はずす）ときに適度な窮屈感があるため、三指での操作を促すことができる。 ・ 蓋のはめはずしは、カップを押さえることによって可能となるので、両手での操作につながる。 ・ カップは柔らかいため、つぶれやすく、力を加減することが必要である。 ・ 算数科の教材としても使用することができる。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	ボタンちゃん	教科・領域等	自立活動
作成者	中学部	第2学年	
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 30 cm×横 45 cm) 1  2  ボタン練習。フェルト2枚で作っています。 スナップとボタン練習			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい - ボタンやスナップ操作を繰り返して、手指の巧緻性を高める。 2 使い方 - ボタンをはめて魚をつなげていく。色の確認をしながら取り組んでも良い。 - つながった魚を一つずつ外す。 - ポケットの中にいろいろな写真カードを入れ、ボタンを外して取り出す。 - スナップやボタンを付けたり外したりする。 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） - フェルト素材で生徒が扱いやすかった。 - ポケットから何が出てくるのか、期待感をもって意欲的に取り組むことができた。			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	押したらプーさん	教科・領域等	自立活動
作成者	中学部 第3学年		
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：縦 15 c m×横 15 c m×高さ 15 c m)			
 			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 肢体不自由の生徒がスイッチ操作に興味をもつことができる。 ・ 自らスイッチを押すことができる。 2 使い方 ・ スイッチを押す、離すを繰り返す。 ・ 「押してみよう。」「離してみよう。」等の言葉掛けを行いながら、スイッチ操作を行う。 3 その他 （児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） ・ より鮮明に見えるよう、箱を段ボールなどで覆った。 ・ 自分がスイッチを押したことで、ライトが付いたことに気付き、繰り返し押そうとする様子が見られた。			
参考文献・WEBがあれば			

教材・教具名	様々な道具を保持するための補助具	教科・領域等	各教科
作成者	中学部 第1学年		
教材・教具写真			
			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい - 握ることに難しさのある児童・生徒に対して、筆記用具等様々な道具の使用を援助する。 2 使い方 - 目玉クリップに道具をはさみ、グリップ（柄）を握らせ付属の補助バンドで固定する。 - 用途や児童・生徒の実態に合わせ、目玉クリップの角度を調整する。 3 その他（児童生徒の反応や使ってみての感想、改善点、材料や作り方についてなど） - 百円ショップにある材料で、ねじ止めだけで容易に作成できる。目玉グリップは様々な大きさがあるので用途に合わせ複数用意すると良い。 材料：目玉クリップ、木材、裾止めテープ、木ねじ等			
参考文献・WEBがあれば			

【 教材・教具解説 】

教材・教具名	お助けクレーン	教科・領域等	全教科・全領域
作成者	中学部	第2学年	
教材・教具写真 (教材・教具の大きさ：高さ 150cm) 			
教材・教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等			
1 ねらい ・ 肢体不自由の生徒が調理実習などをするときに、泡立て器で混ぜたり、マッシャーで芋をつぶしたりするときに、道具から手が離れる、教師が手を添えないと作業がしにくいなどの状況が見られるので、教師の支援がなくても自分の力で、作業をして達成感がもてるようにというねらいから生まれた教具である。 ・ ひもで固定されているので、可動域も広くなり作業がしやすい。			
2 使い方 ・ クレーン状の先にひもを付けて、いろいろな道具をぶら下げて使用する。例えば写真のようにひもの先にマッシャーをくくり付けて、生徒が柄をもって操作する。ひもが付いているので、手が離れても再度握り直して作業ができる。手と道具をマジックテープでとめてタイプの補助具をつけると更に生徒の力が引き出せる。また、美術の筆、マジックなどをくくり付けて使用するなどいろいろな教科に使用できる。			
参考文献・WEBがあれば			